

九州大学 大型計算機センターニュース

No. 252

福岡市東区箱崎 6 丁目 10 番 1 号
九州大学大型計算機センター
広報教育室(TEL092-641-1101)
内線 2505

目 次

- | | |
|--|---|
| 1. FDMS (編集), KUIN(氏名)の利用について | 1 |
| 2. 「センター開発収集コマンド」利用マニュアルのNLP
出力について | 3 |
| 3. プログラムライブラリ開発および開発課題の公開につ
いて | 4 |
| 4. 出張滞在者控室のカード保管棚の整理について | 6 |

1. FDMS (編集), KUIN (氏名) の利用について

FDMS (編集) は, 日本語文章から目次, 索引を自動的に抽出し編集出力するアプリケーションプログラムで, KUIN (氏名) は, 氏名のカナ漢字変換を支援するユーティリティプログラムです。詳細は, 文献 [1, 2, 3] を参照して下さい。

目次編集については, コマンド NCONT を用意しました。なお, これに伴い, 文章処理のためのコマンド NFORMAT (省略形 NFORM) についてオペランド追加等の改訂を行いました。

1. NFORM コマンド

1) 入力形式

コマンド	オペランド
{ NFORMAT } { NFORM }	データセット名 [SYSIN (SYSIN データセット名)] [ZUHANDA (図版 データセット名)] [MOKUJIDA (目次データデータセット名)] [NEW] [PO] [COPY (複写回数)]

2) オペランドの説明

MOKUJIDA (目次データデータセット名): 日本語保存テキストから目次項目を抽出して作成した目次データを格納するためのデータセット名を指定する。

NEW : 上記目次データのデータセットを新規作成する時指定する。このオペランドを指定しないと、既存のデータセットを指定するものと見なされる。

PO : 上記目次データのデータセットを区分データセットとして新規作成したい時指定する。

COPY(複製回数) : フォーマットしてNLPに出力する日本語文書の複製回数を指定する。

その他のオペランドについては、センターニュースNo.223を参照のこと。

3) 使用例

保存テキスト**KANJI**のメンバ**EX4**をフォーマットしてNLPに出力し、同時に目次データ**MOKUJI**(順データセット)を新規作成する。制御文は端末より入力する。

NFORM KANJI(EX4) S(*) M(MOKUJI) N

2. NCONT コマンド

1) 入力形式

コマンド	オペランド
NCONT	データセット名 [STEP(処理過程)] [PARM(パラメータデータセット名)] [MOKUJITEXT(目次テキストデータセット名)] [NEW] [PO]

2) 機能

目次データを入力し、目次テキストの作成およびNLP目次の出力を行う。また、目次テキストを入力し、NLP目次を出力することもできる。

3) オペランドの説明

データセット名 : **STEP(DATA)**の時、目次データのデータセット名を指定する。

STEP(TEXT)の時、目次テキストのデータセット名を指定する。

STEP(処理過程) : 処理過程として、次のいずれかを選択する。省略値はDATAである。

DATA ……目次データを入力し、目次テキストの作成およびNLP目次の出力を行う。

TEXT ……目次テキストを入力し、NLP目次を出力する。

PARM(パラメータデータセット名) : NLP目次の出力形式指示のための実行時パラメータ(PARM文)を指定する。データセット名を指定して入力するか、*を指定して端末よりパラメータを入力する。省略値は*である。

MOKUJITEXT(目次テキストデータセット名) : **STEP(DATA)**の時、出力される目次テキストを格納するデータセット名を指定する。

NEW : 上記目次テキストのデータセットを新規作成する時指定する。このオペランドを指定しないと、既存のデータセットを指定するものと見なされる。

PO : 上記目次テキストのデータセットを区分データセットとして新規作成したい時指定する。

4) 使用例

1. の使用例で作成した目次データMOKUJIを入力し、目次テキストMTEXT(順データセット)を新規作成し、NLP目次の出力を行う。実行時パラメータは端末より入力する。

NCONT MOKUJI M(MTEXT) N

参考文献

1. 川崎, 富山, 武富 日本語情報システム JEF の使用法(4), 九大大型計算機センター広報, 15, 1, 1982, 127-141.
2. 計算機マニュアル FACOM OS IV/F4 FDMS(編集)/JEF解説書(64AR-8212), 富士通㈱.
3. 計算機マニュアル FACOM OS IV KUIN(氏名)/JEF解説書(70AR-8221), 富士通㈱.

2 「センター開発収集コマンド」利用マニュアルのNLP出力について

本センターで開発・収集したコマンド(コマンドプロセッサ, コマンドプロシジャ)については, 広報, センターニュース等にその使用法が掲載されています。しかし, 現在ではその数もふえ, 使用時にいちいちそれらを検索するのは容易ではなく, また, コマンドの仕様変更や改訂があった場合には, それらの作業はなおさら繁雑です。そこで, これらをまとめて JEF で日本語のマニュアルを作成し, 利用者が手軽に NLP より出力できるよう次のコマンドを用意しました。1 頁に 2 段組で出力されますので, 中央で折り綴れば B 5 版大のマニュアルが出来上がります。

1) 入力形式

コマンド	オペランド
MANUAL	{ COMMAND NETWORK }

2) 機能

センター開発収集コマンド利用マニュアルまたは利用の手引「ネットワーク編」を出力する。

3) オペランドの説明

COMMAND : センター開発収集コマンド利用マニュアルを出力する。なお, この中には, 富士通マニュアル「TSS コマンド文法書」には載っていない, RACF, ADF [1] 関係等のコマンドも含まれている。

NETWORK : センターニュース No. 243 でお知らせした, 利用の手引「ネットワーク編」[2] を出力する。

参考文献

1. 末永 オペレーティングシステム OS IV/F4 E40 について, 九大大型計算機センター広報, 14,1,1981,59-68.
2. 大学間コンピュータネットワークのサービス開始について, 九大大型計算機センターニュース No.243,1981.

3. プログラムライブラリ開発および開発課題の公開について

プログラムライブラリ開発課題の一覧を公開することにいたしました。これは、開発者の責任をはっきりさせることも一因ですが、それ以上に、現在開発中の計画を明示して、開発者と利用者相互の連絡を緊密にすることをねらいとしたものです。これにより、利用者は類似のプログラムを作成する際の参考にしたり、そのプログラム開発に対する質問・相談や機能追加・仕様変更などの要望を提示したりすることができるようになります。

表1に、今年度(昭和57年度)プログラムライブラリ開発課題一覧を示します。なお、参考のため昨年度の一覧を表2に示しました。

これらの開発計画については、本センターでは随時募集していますので、いつでもどしどし応募して下さい。ただし、繁忙期の1月～3月の申請はなるべくなら御遠慮下さい。申請された開発課題の採否については、プログラムライブラリ委員会において決定されますが、次のような課題については原則として認めないというのが方針です。

- 1) 一般的な手法が確立されていなくて、研究的性格の強い課題
- 2) 既に登録されているプログラムの保守、デバッグのための課題
- 3) 他センター等のプログラムの書替え・移植において、その作業が極めて容易であると考えられる課題

これらは、利用者自身の課題で行って下さい。ライブラリ委員会におけるこれらに対する議論については、[1]に記述してありますので参照して下さい。

なお、これら開発計画以外にも、ソフトウェアに関する種々の会合、研究会などの開催の希望・要望等ありましたらライブラリ室まで御連絡下さい。

参考文献

1. 上田幾彦 ライブラリ委員の一人として, 九大大型計算機センター広報, 13,2,113,1980.

表 1. 昭和 57 年度プログラムライブラリ開発課題一覧

開発番号	課 題 名	開発者(所属)	開発期間	開発時間	新規/継続
11.1	多変数関数型データの動的表示解析システム開発	大脇 信一 (熊大・教養)	1982.4.1 } 1982.9.30	分 180	継続
11.2	グラフィック装置を用いた2次元原子核反応スペクトル処理プログラムの開発	桑折 範彦 松本 讓 川村 憲造 酒井日出男 (九大・工)	1982.4.11 } 1982.9.30	90	継続
11.3	英文清書システム ROFF における図表等挿入位置指定機能の拡張	牛島 和夫 荒木啓二郎 吉田 和幸 (九大・工) 藤村 直美 (九大・情教セ)	1982.4.1 } 1983.3.31	90	継続
11.4	手続き間情報の解析と整理のツール AUDIE の会話的利用と機能強化	牛島 和夫 河村 豊実 (九大・工)	1982.4.1 } 1983.3.31	90	継続
11.5	ユーザ定義文字のNLP出力支援プログラム開発	国宗 真 (福女大) 南 俊朗 (九大・理)	1982.4.1 } 1983.3.31	180	継続

表2 昭和56年度プログラムライブラリ開発課題一覧

開発番号	課題名	開発者(所属)	開発番号	課題名	開発者(所属)
10.1	グラフィック装置を用いた会話型原子核反応スペクトル処理プログラムの開発	桑折 範彦 松本 謙 川村 憲造 (九大・工)	10.7	1968年機械学会蒸気表の機械計算	伊藤 猛宏 黒木 虎人 (九大・工)
10.2	多次元データ入出力のための対話型システム開発	大脇 信一 (龍大・教養)	10.8	高精度演算ルーチン作成	塩川 浩三 (九大・工) 国宗 真 (福女大)
10.3	単語チェックシステム SPELL の改善	牛島 和夫 横山 和彦 (九大・工) 藤村 真美 (九大・情教セ)	10.9	各種のラインを描くためのサブルーチンおよびラインをスムージングするためのサブルーチンの開発	三木 信博 (大分大・工)
10.4	Fortran プログラム実行モニタ Fortrex と手続き間情報の解析と整理のツール AUDIE の統合	牛島 和夫 河村 豊実 (九大・工)	10.10	グラフィック装置を用いた2次元原子核反応スペクトル処理プログラムの開発	桑折 範彦 松本 謙 川村 憲造 酒井日出男 (九大・工)
10.5	英文清書システム ROFF における図表等挿入位置指定機能の拡張	牛島 和夫 横山 和彦 (九大・工) 藤村 直美 (九大・情教セ)	10.11	ユーザ定義文字のNLP出力支援プログラム開発	国宗 真 (福女大) 南 俊朗 (九大・理)
10.6	LALS プログラムの FACOM への書替えとデバッグ	奥山 健二 (九大・工)	10.12	多変数関数型データの動的表示解析システム開発	大脇 信一 (龍大・教養)

4. 出張滞在者控室のカード保管棚の整理について

カード保管棚を、4月末に整理します。引き続き利用される方は、5階の共同利用掛窓口まで申し出て下さい。なお、整理の都合上、期間までに申し出がない場合は、不要とみなし、カードを処分しますので、必要な方は早目にお引き取り願います。

(共同利用掛 電(内)2515)